



# 医療・健康ビジネスの未来 2025-2034



## 新たなプレイヤーの参入。AI/ヘルステックで激変する業界構造。テクノロジーがけん引する未来の新ビジネスを描く。

10年後の世界の医療・健康産業は、現在のICT産業や自動車産業をはるかに上回る極めて大きな市場規模に成長します。背景にあるのは、かつてない勢いで加速する医療・健康ビジネスの変革です。AIやロボティクスなどによる新しい「医療・健康×テクノロジー（ヘルステック）」が次々と生まれ、医療業界における従来の常識を塗り替えていきます。本レポートでは、世界のメガトレンド、医療・介護の制度改定、テクノロジーの進化、社会や価値観の変化などを多面的に分析し、医療機関や医療・健康業界、そして医療・健康ビジネスが多様な産業に与える影響を提示します。さらに「医療運営支援」「デジタル予防/治療薬」「診療支援」などヘルステックの8分野について、100社を超える国内外の注目企業を総覧。また、GAFAのようなメガプラットフォーム企業が医療・健康分野に本格参入する未来や、医療DXをはじめとするイノベーションの方向性、AIが医療・健康分野に与える影響、医療を巡る経済安全保障などを徹底分析。大きな変革期を迎える医療・健康ビジネスの動向を見通し、今後10年間の200を超える未来像を描き出します。

- 著者：鶴谷 武親（早稲田大学ビジネススクール客員教授、K.I.T.虎ノ門大学院客員教授）
- 2024年12月13日発行
- レポート：A4判、約450ページ
- 価格
  - 書籍とオンラインサービスのセット：990,000円（10%税込）
  - 書籍のみ：660,000円（10%税込）
- 発行：日経BP

### 医療・健康ビジネスの未来 2025-2034 [目次]

※目次は変更になる場合があります。

#### 第1章 医療・健康ビジネスを取り巻く環境

- 1-1 医療・健康市場の拡大
- 1-2 世界の人口動態
- 1-3 医療・健康と社会経済構造の変化
- 1-4 疫学上のトレンドとパンデミックの影響
- 1-5 経済安全保障と医療・健康
- 1-6 医療・健康と地球環境・気候変動
- 1-7 テクノロジーの進化
- 1-8 社会変化・価値観の変化

#### 第2章 日本の社会保障制度の未来

- 2-1 全世代型社会保障
- 2-2 全世代型社会保障を具体化する10年
- 2-3 診療報酬・介護報酬の改定スケジュール
- 2-4 障害福祉サービス報酬の概要

#### 第3章 2025～2034年の診療報酬改定

- 3-1 全世代型社会保障に向けた診療報酬の活用
  - 3-1-1 診療報酬改正、七つの方向性
  - 3-1-2 手術が1年待ちになる時代の到来
- 3-2 医療ニーズの抑制・低減
  - 3-2-1 概論
  - 3-2-2 高齢者の活躍促進
  - 3-2-3 フレイル対策など疾病予防の推進
  - 3-2-4 治療対象の絞り込み
- 3-3 高額薬剤・医療技術への対応
  - 3-3-1 概論
  - 3-3-2 対処療法から根治療法へ
  - 3-3-3 高額薬剤の承認プロセスを見直し
- 3-4 医療費の見直し
  - 3-4-1 概論
  - 3-4-2 給付率の見直し
  - 3-4-3 薬価自己負担額の改定
  - 3-4-4 薬価改定
  - 3-4-5 地域別の診療報酬設定
  - 3-4-6 成果に基づく評価・見直し
  - 3-4-7 リフィル処方箋の調整
  - 3-4-8 デジタル処方箋
  - 3-4-9 入院日数のさらなる短縮
  - 3-4-10 病棟・病床コントロールの強化
  - 3-4-11 医療DXの推進
  - 3-4-12 タスクシフト/シェア
  - 3-4-13 ICT処方
  - 3-4-14 医療・介護の連携深化
  - 3-4-15 医療経営情報の可視化
  - 3-4-16 薬剤師・調剤のあり方を見直し
  - 3-4-17 保険者の強化
  - 3-4-18 精神病棟大国の見直し
- 3-5 医療分野の社会的ニーズへの対応
  - 3-5-1 概論
  - 3-5-2 少子化対策
  - 3-5-3 不妊治療の提供体制
  - 3-5-4 救急医療
  - 3-5-5 認知症対策
  - 3-5-6 緩和ケア
  - 3-5-7 終末期医療
  - 3-5-8 提供困難地域への配慮
  - 3-5-9 ポストコロナ、パンデミックに対応可能な医療提供体制の構築
- 3-5-10 口腔疾患の重症化予防
- 3-5-11 ヤングケアラー対策
- 3-5-12 看護師報酬の引き上げ
- 3-5-13 医師の働き方改革
- 3-5-14 ドラッグラグ
- 3-5-15 医師の偏在対策
- 3-5-16 チート/ハック対策

#### 第4章 2025～2034年の介護報酬改定

- 4-1 介護報酬改定、五つの方向性
  - 4-1-1 2024年の介護報酬改定
  - 4-1-2 今後10年間のアクション
- 4-2 介護報酬の予防シフト
  - 4-2-1 フレイル対策
- 4-3 負担と給付の見直し
  - 4-3-1 概論
  - 4-3-2 保険料は所得・資産に応じた負担増へ
  - 4-3-3 給付率調整
  - 4-3-4 予算主体は地域へ
  - 4-3-5 事業展開は地域主体に
  - 4-3-6 成果に基づく評価・見直し
  - 4-3-7 業績連動給付の検討
- 4-4 介護分野の社会的ニーズへの対応
  - 4-4-1 概論
  - 4-4-2 認知症対策
  - 4-4-3 緩和ケア
  - 4-4-4 終末期医療
  - 4-4-5 介護従事者の確保
  - 4-4-6 リハビリ強化
  - 4-4-7 施設不足解消
  - 4-4-8 ポストコロナ対応
  - 4-4-9 ニーズ増大期からニーズ減少期への移行期の模索
- 4-5 介護分野のICTの活用と効率化
  - 4-5-1 概論
  - 4-5-2 経営情報の見える化と効率化
  - 4-5-3 介護ロボット
  - 4-5-4 パワードスーツ
  - 4-5-5 事業主体の大型化・協働推進
  - 4-5-6 事業主体の民間活用
- 4-6 医療機関と介護施設の連携強化
  - 4-6-1 概論
  - 4-6-2 医療と介護の連携強化
  - 4-6-3 地域包括ケアシステム
  - 4-6-4 保険者の意向を強く反映
  - 4-6-5 住民や家族が介護を負担

#### 第5章 医療機関の未来

- 5-1 厚生労働省が考える医療システムの未来
  - 5-1-1 医療の役割分担と医療圏
  - 5-1-2 病床機能報告制度のマイルストーン
  - 5-1-3 減少する病床数
  - 5-1-4 病床数の減少と病院経営
  - 5-1-5 プライマリー・ケア・シフト
  - 5-1-6 診療所のチェーン化
  - 5-1-7 医療機関の機能分担
  - 5-1-8 地域医療構想の三つの政策
  - 5-1-9 医療DXによる効率化
- 5-2 病院の未来～ビジネスモデルの変容
  - 5-2-1 概論
  - 5-2-2 機能の明確化と取扱選択
  - 5-2-3 M&A・大型化
  - 5-2-4 グローバル化・外資の参入
  - 5-2-5 外国人向け市場の成長
  - 5-2-6 総合商社の世界進出と外資の日本参入
  - 5-2-7 専門領域による高度化
  - 5-2-8 医療ビッグデータの活用
  - 5-2-9 医療分野の働き方改革
  - 5-2-10 マルチホスピタルシステムの台頭
  - 5-2-11 株式会社による病院運営に関する議論
  - 5-2-12 リテールクリニックの定義とビジネスモデルの進化
  - 5-2-13 メガプラットフォームとリテールクリニックの進化
- 5-3 病院の未来～先端テクノロジーの深化
  - 5-3-1 概論
  - 5-3-2 再生医療の可能性
  - 5-3-3 有望市場としての再生医療
  - 5-3-4 先制医療の進展
  - 5-3-5 先制医療とライフログ
  - 5-3-6 治療プロセスの効率化
  - 5-3-7 重要性高まる医療データ
  - 5-3-8 電子カルテと医療データ
  - 5-3-9 遺伝子治療の進化と予防/先制/再生
  - 5-3-10 遺伝子治療の議論と遺伝情報
  - 5-3-11 超個別化医療
  - 5-3-12 美容・アンチエイジング
- 5-4 デジタルホスピタル
  - 5-4-1 概論
  - 5-4-2 AI/RPA
  - 5-4-3 PHR
  - 5-4-4 SaMD
  - 5-4-5 ロボット
  - 5-4-6 VR
  - 5-4-7 ポイント・オブ・ケア (POC)
  - 5-4-8 オンライン診療
- 5-5 診療所の未来～コンピニ化する診療所
  - 5-5-1 概論
  - 5-5-2 診療所市場の現状
  - 5-5-3 365日診療の台頭
  - 5-5-4 診療所のチェーン化
  - 5-5-5 ICT投資の増大
  - 5-5-6 病院系列vs診療所チェーン
  - 5-5-7 医師余りと働き方改革

- 5-5-8 多様化する医師のキャリアパス
- 5-6 歯科診療所の未来
  - 5-6-1 概論
  - 5-6-2 国民皆歯科検診
  - 5-6-3 歯科診療所の二極化
  - 5-6-4 専門化進行と一般歯科の減少
  - 5-6-5 成人・高齢者：虫歯から歯周炎へ
  - 5-6-6 小児：虫歯予防が完遂し、歯並びケアへ
  - 5-6-7 歯科衛生士の不足
  - 5-6-8 医科歯科連携・病診連携
  - 5-6-9 審美歯科の高度化
  - 5-6-10 高度歯科医療の進展

#### 第6章 医療・健康業界の未来

- 6-1 医療機器業界の未来
  - 6-1-1 概論
  - 6-1-2 医療機器業界を取り巻く環境
  - 6-1-3 サービス化競争
  - 6-1-4 バリュチェーン化競争
  - 6-1-5 医療・健康業界の垣根を越えたM&A
  - 6-1-6 プラットフォーム化競争
  - 6-1-7 プラットフォーム化を狙う中国企業
  - 6-1-8 医療機器のコモディティー化とPBA化
  - 6-1-9 医療・健康業界で存在感が増すGAF
  - 6-1-10 医療機器を取り巻く市場環境
  - 6-1-11 日本の医療機器ビジネス
    - 6-1-12 検査診断向け医療機器とPOC
    - 6-1-13 検査診断向け医療機器の低価格化
    - 6-1-14 生体データ収集機器
    - 6-1-15 医療機器による高精度診断とAI
    - 6-1-16 治療向け医療機器とPOC
  - 6-1-17 治療向け医療機器の非侵襲/低侵襲化
  - 6-1-18 再生医療向けソフトウェア治療機器
  - 6-1-19 手術用ロボット
- 6-2 障害者の視点が未来のヒントに
- 6-2 薬局・ドラッグストア業界の未来
  - 6-2-1 概論
  - 6-2-2 調剤薬局を取り巻く環境
  - 6-2-3 調剤薬局と地域包括ケア
  - 6-2-4 他業種が調剤薬局に参入する真の狙い
  - 6-2-5 ドラッグストアを取り巻く環境
  - 6-2-6 スイッチOTCとセルフメディケーション規制
  - 6-2-7 ドラッグストアとECによる逆風
  - 6-2-8 薬局とドラッグストアの融合
  - 6-2-9 薬局/ドラッグストアのICT活用
  - 6-2-10 処方薬の配送自由化と需要予測
  - 6-2-11 バリュチェーン化競争
  - 6-2-12 サービス化競争
  - 6-2-13 プラットフォーム化競争
  - 6-2-14 メガプラットフォームマーとの競争
  - 6-2-15 医療・健康の規制緩和、二つの方向性
  - 6-2-16 医療DXと調剤薬局
  - 6-2-17 ドローン配送/医療機能の規制緩和
  - 6-2-18 診療報酬改定の見通しと事業戦略
  - 6-2-19 リフィル処方箋/後発医薬品
  - 6-2-20 プライマリー・ケア・シフト
  - 6-2-21 医薬品卸業界の未来
- 6-3 製薬業界の未来
  - 6-3-1 概論
  - 6-3-2 製薬業界を取り巻く環境
  - 6-3-3 バイオ医薬品とクロスセック
  - 6-3-4 悪性腫瘍向け医薬品の成長
  - 6-3-5 メガファーマ競争
  - 6-3-6 大型化と専門特化
  - 6-3-7 製薬における成長分野
  - 6-3-8 CDMOの興隆
  - 6-3-9 ベット向け医薬品
  - 6-3-10 医療費抑制と新興国シフト
  - 6-3-11 開発新興国の影響拡大
  - 6-3-12 ドラッグラグ/ドラッグロス
  - 6-3-13 治療から予防・根本解決へ
  - 6-3-14 先端テクノロジーのインパクト
  - 6-3-15 サイボーグ化
  - 6-3-16 BMIの実用化
  - 6-3-17 POCの潮流
  - 6-3-18 医工連携・医工融合
  - 6-3-19 遺伝子
  - 6-3-20 再生医療
  - 6-3-21 医師・病院単位から専門窓口購買形式へ
  - 6-3-22 製薬企業が進む道

- 6-4 AI創薬
  - 6-4-1 概論
  - 6-4-2 BigHat Biosciences社
  - 6-4-3 Deep Genomics社
  - 6-4-4 Google DeepMind社
  - 6-4-5 ICON社
  - 6-4-6 Insilico Medicine社
  - 6-4-7 IQVIA Holdings社
  - 6-4-8 Medable社
  - 6-4-9 Molecule One社
  - 6-4-10 Optum社
  - 6-4-11 Recursion Pharmaceuticals社
  - 6-4-12 Reify Health社
  - 6-4-13 Syneos Health社
  - 6-4-14 biomy
  - 6-4-15 NEC
  - 6-4-16 NTTフロンティアメディシン
  - 6-4-17 SB TEMPLUS
  - 6-4-18 Veritas In Silico
  - 6-4-19 エクササイザーズ
  - 6-4-20 ゼウレカ
  - 6-4-21 富士通
  - 6-4-22 メディカル・データ・ビジョン
  - 6-4-23 レナサイエンス
- 6-5 個人向け医療サービス
  - 6-5-1 概論
  - 6-5-2 2.3andMe社
  - 6-5-3 Care Sourcer社
  - 6-5-4 Cityblock Health社
  - 6-5-5 DayTwo社
  - 6-5-6 DMT社
  - 6-5-7 Drem社
  - 6-5-8 Empatica社
  - 6-5-9 iPulse Medical社
  - 6-5-10 Kaiser Foundation Health Plan社
  - 6-5-11 LetsGetChecked社
  - 6-5-12 Season Health社
  - 6-5-13 Waymark社
  - 6-5-14 エムティアイ
- 6-6 ウェルネス&健康管理
  - 6-6-1 概論
  - 6-6-2 Calm社
  - 6-6-3 Caraway社
  - 6-6-4 DexaFit社
  - 6-6-5 digi.me社
  - 6-6-6 Headspace社
  - 6-6-7 Limeade社
  - 6-6-8 Lyra Health社
  - 6-6-9 Nemesysco社
  - 6-6-10 Spring Health社
  - 6-6-11 Vantage Circle社
  - 6-6-12 Wellable社
  - 6-6-13 iCare
  - 6-6-14 ペネフィット・ワン
  - 6-6-15 メンタルヘルステック/ロジーズ
- 6-7 データインフラ
  - 6-7-1 概論
  - 6-7-2 Commure社
  - 6-7-3 IOMED社
  - 6-7-4 Komodo Health社
  - 6-7-5 Tempus社
  - 6-7-6 JMDC

#### 第7章 ヘルステックの未来

- 7-1 ICTを取り巻く環境
  - 7-1-1 全体像
  - 7-1-2 IoT：すべてのものがつながる
  - 7-1-3 通信速度：10年後には1万倍に
  - 7-1-4 AI：性能向上を支える膨大なデータ
  - 7-1-5 プレイヤー：上位企業の寡占化はさらに進む
  - 7-1-6 クロスセック：無数の対象が存在する
  - 7-1-7 医療・健康業界のクロスセック
  - 7-1-8 高まるICTの影響力と調整の動き
- 7-2 テクノロジーの未来
  - 7-2-1 概論
  - 7-2-2 IoT (M2M)

#### 第8章 ヘルステック企業総覧

- 8-1 ヘルステック企業の定義
  - 1. ヘルステック概論
  - 2. ヘルステック企業の区分
- 8-2 医療運営支援
  - 1. 概論
  - 2. Ada Health社
  - 3. Athelas社
  - 4. Cedar Cares社
  - 5. care.ai社
  - 6. Eelos Health社
  - 7. Flatiron Health社
  - 8. Hippocratic AI社
  - 9. Honor Technology社
  - 10. LeanTaaS社
  - 11. Paradigm Health社
  - 12. Truepill社
  - 13. Unite Us社
  - 14. メドレー
  - 15. メドピア
- 8-3 疾患管理(デジタル予防/治療薬)
  - 1. 概論
  - 2. Akili社
  - 3. Biofourmis社
  - 4. Cognoa社
  - 5. Elemetry社
  - 6. HealthSnap社
  - 7. Hinge Health社
  - 8. Lark Health社
  - 9. Omada Health社
  - 10. One Drop
  - 11. Rippl社
  - 12. Story Health社
  - 13. Strive Health社
  - 14. Virta Health社
  - 15. CureApp(キュア・アップ)
  - 16. Welby(ウェルビー)
  - 17. アルム
- 8-4 検査
  - 1. 概論
  - 2. BillionToOne社
  - 3. BostonGene社
  - 4. Cleerly社
  - 5. Exo Imaging社
  - 6. Harbinger Health社
  - 7. Overjet社
  - 8. PathAI社
  - 9. Lura Health社
  - 10. Butterfly Network社
  - 11. OraSure Technologies社
  - 12. HIROTSU/バイオサイエンス
- 8-5 診療支援
  - 1. 概論
  - 2. Babylon Health社
  - 3. Caresyntax社
  - 4. Medipixel社
  - 5. Memora Health社
  - 6. Navina Technologies社
  - 7. Proximie社
  - 8. Rad AI社
  - 9. RapidAI社
  - 10. Tencent社
  - 11. Ping An Insurance(Grp) Co. of China社
  - 12. オプティム
- 8-6 AI創薬
  - 1. 概論
  - 2. BigHat Biosciences社
  - 3. Deep Genomics社
  - 4. Google DeepMind社
  - 5. ICON社
  - 6. Insilico Medicine社
  - 7. IQVIA Holdings社
  - 8. Medable社
  - 9. Molecule One社
  - 10. Optum社
  - 11. Recursion Pharmaceuticals社
  - 12. Reify Health社
  - 13. Syneos Health社
  - 14. biomy
  - 15. NEC
  - 16. NTTフロンティアメディシン
  - 17. SB TEMPLUS
  - 18. Veritas In Silico
  - 19. エクササイザーズ
  - 20. ゼウレカ
  - 21. 富士通
  - 22. メディカル・データ・ビジョン
  - 23. レナサイエンス
- 8-7 個人向け医療サービス
  - 1. 概論
  - 2. 2.3andMe社
  - 3. Care Sourcer社
  - 4. Cityblock Health社
  - 5. DayTwo社
  - 6. DMT社
  - 7. Drem社
  - 8. Empatica社
  - 9. iPulse Medical社
  - 10. Kaiser Foundation Health Plan社
  - 11. LetsGetChecked社
  - 12. Season Health社
  - 13. Waymark社
  - 14. エムティアイ
- 8-8 ウェルネス&健康管理
  - 1. 概論
  - 2. Calm社
  - 3. Caraway社
  - 4. DexaFit社
  - 5. digi.me社
  - 6. Headspace社
  - 7. Limeade社
  - 8. Lyra Health社
  - 9. Nemesysco社
  - 10. Spring Health社
  - 11. Vantage Circle社
  - 12. Wellable社
  - 13. iCare
  - 14. ペネフィット・ワン
  - 15. メンタルヘルステック/ロジーズ
- 8-9 データインフラ
  - 1. 概論
  - 2. Commure社
  - 3. IOMED社
  - 4. Komodo Health社
  - 5. Tempus社
  - 6. JMDC

- 9-1 食品×医療・健康
- 9-2 金融×保険×医療・健康
- 9-3 不動産×医療・健康
- 9-4 自動車×医療・健康
- 9-5 観光×旅行×医療・健康
- 9-6 人材×医療・健康
- 9-7 大学・政府×医療・健康

#### 第9章 医療・健康周辺業界の未来

- ※第1章、第2章、第9章の詳細はホームページをご覧ください。